

決算審査特別委員会 代表質疑通告書

令和 7 年 9 月 29 日

委員氏名 新岡 知恵

決算審査特別委員長 松島 緑 様

一問一答 (☒ 有 ・ 無)

ページ 4 ~ 1

大 項 目	1, 持続可能な財政基盤の確立
小 項 目	質 問 の 要 旨
(1) 基本指針に基づく財政運営と行政改革について	令和 6 年度一般会計決算は 379 億 9,500 万円と、317 億 9,500 万円の当初予算に対して、大きく膨らみました。特に経常収支比率の悪化は著しく、中期的な見通しの中でも財政の硬直化が継続する見込みです。 今後も物価高騰が続き、経常経費が増加する中で、市民の求める政策を実現するためには、大胆な経常事業の見直しが必要だと考えますが、令和 6 年度の経常事業の見直しと今後の取り組みについて伺います。
大 項 目	2, 市民の運動環境整備
小 項 目	質 問 の 要 旨
(1) 市民の水泳機会の確保	8 か所あった市民プールのうち、3 か所は令和 5 年度末で廃止され、加えて島松小学校に設置されている市民プールも老朽化による改修工事のため令和 6 年度は利用できませんでした。市民の水泳機会が失われているのではないかと懸念されます。 千歳市民プールを千歳市民料金で利用できる事業が令和 5 年度から開始し、令和 6 年度で 2 年経過して見えてきた、市民の水泳機会の確保策としての効果と課題について伺います。

7.9.29

	氏名 新岡 知恵	ページ 4～2
大 項 目	3, 子ども支援の体制強化	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
(1) 子ども発達支援センターにおける支援体制	障がい児の通所支援において、子ども発達支援センターでの作業療法士や言語聴覚士など専門職の果たす役割は重要ですが、実態として訓練を受けられるのは就学前の障がい児となっています。障がい児にとって、就学後も切れ目のない継続的なケアを受けることは重要です。 令和6年度における支援体制についての課題を伺います。	
(2) 中学校における通級指導教室について	通級指導教室は、小学校にしか設置されていませんでしたが、令和6年度初めて恵庭中学校に設置されました。決算個別質疑から、事業開始初年度は予想よりも通級する生徒が少なかった理由として、部活動や生徒会活動といった中学生特有の生活スタイルがあり、小学校における通級指導教室との違いがわかりました。中学校への通級指導教室設置における効果と課題について伺います。	
大 項 目	4, 安心・安全なまちづくり	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
(1) 物価高騰対策	総務省の発表した令和6年の消費者物価指数は、前年比で2.7%の上昇とされています。このうち、食品やエネルギーの価格上昇は著しく、積雪寒冷地である北海道においては、全国平均を上回る家計への影響が生じていると考えられます。 これに対する、恵庭市独自の取組としては、国の定額給付金に関連した給付金の対象拡大等にとどまっています。 定額減税があったとはいえ、賃上げの影響が少ない非正規労働者や年金生活者などの生活は、長引く物価高騰により、厳しさを増しています。 令和6年度に実施した物価高騰対策の成果と、対策の課題について伺います。	

	氏名 新岡 知恵	ページ 4～3
大 項 目	4, 安心・安全なまちづくり	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
(2) ゼロカーボン	恵庭市では、2022 年にゼロカーボンシティを宣言し、2030 年の温室効果ガス実質ゼロに向けた取り組みを進めています。 地球温暖化対策実行計画事務事業編については、再生可能エネルギーによる電力調達や、下水終末処理場におけるオンサイト PPA などの取組によって、計画に沿った削減が進められていますが、区域全体における取組は、十分な成果に結びついているのか、明らかではありません。 特に影響が大きい産業・業務・運輸部門におけるゼロカーボンの取組の進捗について伺います。 また、区域内においては、再生可能エネルギーによる発電施設も増加しているようですが、市街化調整区域も含め、農地など周辺の土地利用との調和が図られるようガイドラインが必要ではないかと考えます。 令和 6 年度における市街化調整区域での発電施設の設置状況と、今後の発電施設設置に対する市の考えについて伺います。	
(3) 通学路に限らない一元的な交通安全対策	恵庭市通学路安全プログラムに基づく通学路合同点検を実施し、関係機関が情報共有をしながら、安全対策が取られています。 一方で、地域には、通学路以外でも交通事故の多発している箇所などがあり、通学路以外も含めた危険箇所に対する対策を、地域とも情報共有する中で進めていくことが必要ではないかと考えます。 令和 6 年度における通学路の安全、地域の交通安全の取組の実施状況と、課題について伺います。	

	氏名 新岡 知恵	ページ 4～4
大 項 目	4, 安心・安全なまちづくり	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
(4) 下水汚泥の 再資源化	国は下水汚泥の資源化を積極的に進めている中、恵庭市では下水汚泥の堆肥化に取り組んでいます。しかし、ある大学の調査結果において全国の下水汚泥から PFAS(有機フッ素化合物)が検出されており、その安全性に懸念が生じています。 令和6年度における下水汚泥の安全性確認の取組と、下水汚泥資源化における課題を伺います。	

決算審査特別委員会代表質疑通告書

令和7年9月29日

委員氏名 武藤 光一

決算審査特別委員長 松島 緑 様

一問一答 (有) 無)		ページ 1~1
大 項 目	一般行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
令和6年度予算	令和6年度予算は 1, 恵庭の新たな未来を見据えたまちづくり 2, 子どもたちが元気で光り輝くまちづくり 3, 市民の暮らしと健康を守るまちづくり 4, 人と人がつながり誰もが暮らしやすい共生のまちづくり 5, デジタル・脱炭素社会の実現を目指したまちづくり 以上5本の柱で編成されました。以下、その成果と課題についてお伺いします。 1, 移住促進事業 2, 多文化共生推進事業 3, ケアラー支援推進事業 4, 成年後見支援センター運営事業 5, 子どもの生活・学習支援事業 6, ひとり親家庭等高等職業訓練促進給付金事業 7, 焼却施設管理運営事業 8, 花の拠点運営事業 9, 街区公園再整備事業 10, 市営住宅学生入居事業	
財政運営	財政運営における、以下の結果と評価についてお伺いします。 1, 経常収支比率 2, 地方債残高 3, 実質公債費比率 4, 財政調整基金残高	

